施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 保険年金課

施策名	30 医療保険
政策名	安心な「暮らし」を守る
施策がめざす将来の姿	・全ての人が安心して医療を受けられるため、健康に過ごすことができています。
	0

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
特定健診受診率	%	35.3	60.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	31.00	31.00	36.6		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
ぎふ・さわやか口腔健診受診率	%	2.1	6.0		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	5.00	4.40	5.3		

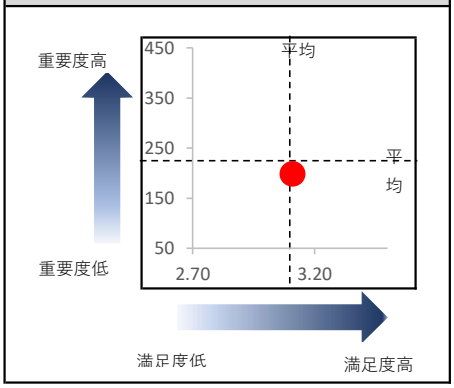
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
198

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
85.9	→	87.1

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

特定健診受診率は、ナッジ理論やAI分析を用いた受診勧奨を行ったことにより、向上しています。今後も健康寿命の延伸と医療費適正化につなげるため継続していくべき施策として捉え、更なる受診率向上を目指し、休日健診の継続実施や健診の必要性をわかりやすく周知して引き続き啓発に取り組んでいきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：特定健診受診促進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
5,966	特定健診受診率向上事業	↗	↗	受診勧奨を継続的に実施するとともに、医療機関との連携強化を行うことで特定健診の受診率向上に取り組みます。今後も効果的な特定健診受診促進事業について検討していきます。	○
	特定健診データ収集事業	→	→		

事務事業②：被保険者健康づくり事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
5,546	人間ドック助成	→	→	国民健康保険被保険者の人間ドック受診費用を助成及びヤング健診対象年齢を拡充し受診勧奨することで、受診者数の増加を図り、被保険者の健康意識の向上、病気の早期発見による医療費の削減につなげていきます。	○
	ヤング健診事業	↗	↗		